

もっと知りたい!クルマのこと

# CAR LIFE



AACかわら版  
カーライフ

〈発行所〉アフターマーケットサプライヤー活性化委員会

[巻頭特集]

Vol.

22

2024 NOV.

TAKE FREE!

## ユーザーが知りたい 洗車機の進化

まだまだ熱い!

旧車・ネオクラ車ブームを支える  
復刻パーツの動き

チャイルドシートの  
推奨身長が変わったって知ってた?

道路交通法と道路運送車両法  
それぞれの目的や  
車両区分の違いをご存じですか?

[クルマの豆知識]

続く自動車アフターマーケットのルール改正  
車検の2ヶ月前受検が可能に



まだまだ熱い!

# 旧車・ネオクラ車ブームを支える 復刻パーツの動き

現在、国産の旧車やネオクラシック車と言われる車種が希少車としてかなりの高値で取引されている。その背景には、関連する旧車部品の復刻パーツの動きや3Dプリンターの活用など様々な動きがある。そこで今回は進化するクルマとは対照的な旧車の価値に寄与している復刻パーツにスポットを当ててみたい。

## 高騰する旧車の価格

国産旧車の中でも人気が高い「スカイライン」や「フェアレディZ」、また1980年代から90年代にかけて販売されたいわゆる「ネオクラシックカー」である「RX-7」や「ランサーエボリューション」などの価格が高騰している。中古車買い取りサイトなどをのぞいてみると、特にフェアレディZなどは1,000万円台~高いタイプでは約3,600万円とびっくりするような金額が並ぶ。



日産 フェアレディZ Z432		
支払総額 (税込) <b>3660</b> 万円	車両本体価格 (税込) 3630万円	諸費用 (税込) 30万円
年式 1970年	走行距離 走不明	車検 なし
排気量 2000cc	修復歴 なし	

画像出典:「グーネット中古車」より

## 旧車パーツ復刻の動き

令和6年3月末の国内の乗用車(軽自動車を除く)の平均車齢は9.34年で、過去最高となった。愛車を大切に長く乗るユーザーが増える一方で、長く乗れば乗るほど、純正部品が劣化し、交換しようにも該当の部品が既に無いというケースも出てくるだろう。そんな中で、自動車メーカー各社やパーツメーカー、部品商社などが旧車パーツの復刻や再販、製造に取り組んでいる。

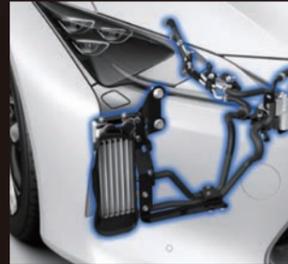
自動車メーカーでは、日産が「NISMO ヘリテージパーツ」、ホンダではBEATの純正部品の再生産・販売を「BEATparts」として、マツダでは、ユーノス・ロードスターのレストア事業として「CLASSIC MAZDA」を展開。サイト内で「NAロードスターレストアサービス」を進めている。トヨタは、TOYOTA GAZOO Racingの「GRヘリテージパーツ」サイトで復刻パーツオーダーを受け付けるなど様々な取り組みが現在進行形で進んでいる。

▶日産・ニスモ <a href="https://www.nismo.co.jp/heritage_parts/">https://www.nismo.co.jp/heritage_parts/</a>	▶マツダ・クラシックマツダ <a href="https://www.mazda.co.jp/carlife/classicmazda/">https://www.mazda.co.jp/carlife/classicmazda/</a>
▶ホンダ・ビートパーツ <a href="https://www.honda.co.jp/BEATparts/">https://www.honda.co.jp/BEATparts/</a>	▶トヨタ・GRヘリテージ <a href="https://toyotagazooracing.com/jp/gr/heritage/">https://toyotagazooracing.com/jp/gr/heritage/</a>

一方の自動車アフターマーケットにおいても、前述した自動車メーカーだけではなく、補修部品を展開するパーツメーカーや部品商社が、旧車ユーザーの熱いニーズを受けて、絶版となっている車種の該当パーツを取り扱っている。旧車の希少性に加え、これら復刻パーツが旧車の価値をさらに上げていると言っても過言ではないのだ。

## 3Dプリンターの活用

旧車ではないが、大量生産される自動車のパーツに3Dプリンターで製造したパーツが採用された例をご紹介したい。トヨタの「LEXUS LC500」の2024年モデルイヤーからオプションとして搭載されたオートマチックトランスミッション(AT)オイルクーラーのダクトに、3Dプリンター製品が採用されている。自動車メーカーの純正オプション部品に3Dプリンター製品が採用されたのは国内初となる。少量生産やコスト面での課題をクリアしたこの動きは、絶版部品が多い旧車パーツの復刻にも波及するかもしれない。今後の動向に注目だ。



SOLIZE株式会社  
【国内初事例】LEXUS LC500の純正オプションパーツ「オイルクーラーダクト」を3Dプリンターで製造▶




**EXEDY HERITAGE COLLECTION**  
往年の名車を愛するすべての方へ、  
駆動系専門メーカーが送り出す  
高品質補修クラッチ!

## 株式会社エクセディ

「eカタログ」より車型式入力  
で適合検索が可能です▶ **エクセディ** 検索



# GMB

Your success is our Future.

## クラシックカーの命、GMBがお助けします。

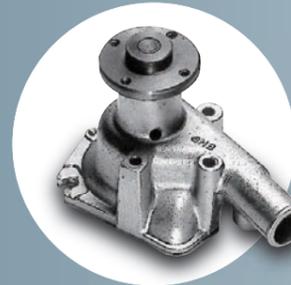
日本の名車、クラシックカー用のウォーターポンプを幅広く取り扱っており、新品のウォーターポンプを提供しております。クラシックカーのウォーターポンプでお困りの際は一度お問い合わせをお願い致します。

## ISUZU 117 COUPE

イズ 117クーペ 1970-1975

エンジン型式:G180

純正品番:9-13617-637-1



GMB No.

**GWIS-14A**

上記以外の車両の部品も取り扱っております。

## GMB 株式会社

〒636-0295  
奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3  
TEL:0745-44-1911  
FAX:0745-44-1930  
<https://www.gmb.jp/>



GMBカタログサイト



GMB.OFFICIAL\_GLOBAL



## 時代を超える名車たち、 Seiken Classicで蘇る。

トヨタ2000GT、日産フェアレディZ、スバル360、マツダコスモスポーツ。  
日本が誇る名車たち、その走りを守り続ける。  
Seiken Classicは、信頼の補修部品で、あなたのクラシックカー、旧車を次世代へとつなぎます。

### ▼専用補修部品ラインナップ

- ・ブレーキマスターシリンダーAss'y
- ・ブレーキマスターシリンダーリペアキット
- ・キャリパーシールキット
- ・ホイールシリンダーAss'y
- ・ホイールシリンダーカップキット
- ・ブレーキホース
- ・クラッチマスターシリンダーAss'y
- ・クラッチマスターシリンダーリペアキット
- ・クラッチリリースシリンダーAss'y
- ・クラッチリリースシリンダーリペアキット
- ・ブレーキディスクパッド

さらに多くのアイテムを取り扱い中!



取り扱い  
カーメーカー

- イズ
- スバル
- ダイハツ
- トヨタ
- ニッサン
- ホンダ
- ヒノ
- マツダ
- ミツビシ



Seiken Classic  
公式ウェブサイト

Seiken Classic オンラインショップでご購入いただけます。ノンアスベスト素材を使用したディスク  
ブレーキパッドもラインナップ。その他、多数の車種に対応した補修部品をご用意しております。

製造元



制研化学工業株式会社  
SEIKEN CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

総販売代理店



明治産業株式会社

# チャイルドシートの 推奨身長が変わったって 知ってた？

8月下旬に福岡で起こった軽自動車と路線バスの追突事故では、チャイルドシートを使用していなかった7歳と5歳の姉妹が死亡。この事故では姉妹がシートベルトを着用していたものの、このシートベルトに腹部を強く圧迫されたことが死因となったという。

その後、JAFがチャイルドシート使用を呼び掛ける対象の身長を引き上げを発表している。そこで本稿では、事故による安全性確保の観点からチャイルドシート着用の重要性を取り上げる。

## チャイルドシートの着用は広がっているが...

自動車の乗車中における幼児の死亡事故を見ると、チャイルドシートを使用していなかった場合の死亡率は、使用していた場合より3倍以上高いというデータが示す通り、事故時の子どもの安全性確保は大きな課題となっている。なお、道路交通法により2000年4月1日から、6歳未満の乳幼児にはチャイルドシートを使用することが義務化されている。

義務化からまもなく四半世紀を迎えるが、JAFと警察庁がまとめた「チャイルドシート使用状況全国調査(2024)」によると、6歳未満の子どもの使用率は約8割となり、過去最高となった一方、依然として義務化されているに関わらず、約2割がチャイルドシートを使用していない実態も浮き彫りとなった。さらに年齢別で見ると、特に5歳の使用率が約6割に下がることも分かったという。体格が大きくなれば、チャイルドシートがやや窮屈となり、嫌がる子どもも多いことから、6歳未満の使用率が低くなっていることが推測されるが、チャイルドシートを使用していない場合、道路交通法違反で運転者に罰則(交通違反点数1点)が適用される。



## JAFがチャイルドシート使用推奨身長を変更

前述した福岡での事故では、7歳と5歳の姉妹の死因がシートベルトに腹部を強く圧迫されたことによるものと報道された。ちなみに現行の道路交通法では「6歳未満の乳幼児にはチャイルドシートを使用すること」としか規定されていない。なおJAFでは福岡の事故後に、チャイルドシート使用を呼び掛ける対象を身長140cm未満から150cm未満に引き上げることを発表した。6歳未満はもちろん、6歳以上でも体格によってはシートベルトが首や腹部にかかり、衝突時に身体を圧迫するリスクがあるというのがその理由だ。併せてJAFではチャイルドシートを適正に使用・着座していないと子どもが怪我をするなど、重大な事故に繋がる可能性が高まることから、適正なチャイルドシートの使用に関する啓発活動を積極的に進めていくと発表している。またシートベルトに関しては、身長150cm以上で安全に使える設計となっているため、それ以下の身長で使用した場合は、今回の事故のように尊い命を奪う凶器にもなりうるということを認識してほしい。JAFでは今後「シートベルトは150cm超えてから」という方向でも啓発活動を展開していくそうだ。

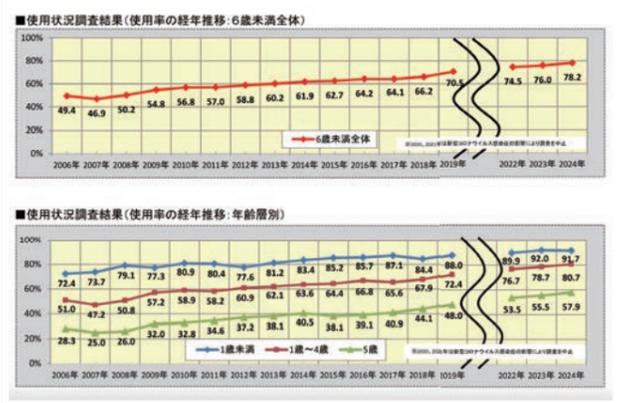
【JAF最新検証動画】  
体格に合ったチャイルドシートの必要性  
～時速55kmで衝突した際の検証～

<https://youtu.be/rUpLoDKC6Ac?si=u3o-Lic8gyGPAGy>



みんな 知ってる 使ってる  
**Miyaco**  
の ブレーキ パーツ

ミヤコ自動車工業株式会社



JAF「チャイルドシート使用状況全国調査(2024)―使用率の経年推移」より

# 道路交通法と道路運送車両法 それぞれの目的や 車両区分の違いをご存じですか？

令和5年7月1日の道路交通法の一部を改正する法律で、電動キックボードなどを始めとする小型モビリティに関して「特定小型原動機付自転車」というルールが定められたが、ユーザーの認知が進んでいるとは言い難い。そこで本稿では改めてルールをおさらいするとともに、交通ルールやユーザーとして知っておくべきポイントをまとめた。

## 特定小型原動機付自転車とは？

前述の通り、令和5年7月1日施行の道路交通法の改正により、車体の大きさや構造などが一定の基準に該当する原動機付自転車は「特定小型原動機付自転車」と規定された。具体的な基準は以下の通り。

※これらの基準を全て満たすもの

- 車体の大きさ: 長さ190cm以下、幅60cm以下
- 原動機: 定格出力が0.60kW以下の電動機を搭載
- 時速20kmを超える速度を出すことができない
- 走行中に最高速度の設定を変更することができない
- オートマチック・トランスミッション(AT)機構がとられている
- 最高速度表示灯が備えられている



また、道路運送車両法上の保安基準に適合することや、自動車損害賠償責任保険の契約、ナンバープレートの取り付けが必須となっている。なお運転者のヘルメット着用は努力義務で、16歳以上であれば免許なしで運転が可能だ。交通ルールについては、基本的には「自転車のルールと同じ」と覚えておくのが良い(一部例外は後述)。例えば、自転車が通行するのは「車道の左側」であり、右左折の方法についても、左折時は横断歩道等を渡る歩行者の通行を妨げはならず、右折時は二段階右折が必須である。ただ例外として、自転車を含む軽車両には法定速度が定められていないが、特定小型原動機付自転車は法定速度が時速20kmと決まっている。

## 道路交通法と道路運送車両法の違いを知る

日本における車両は「道路交通法」と「道路運送車両法」という2つの法律によって定義されている。道路交通法は、道路交通の安全と円滑を図ることを目的に、運転免許などに関わるルールを定めた法律で、道路運送車両法は、車両の登録などを目的に検査や整備などに関わるルールを定めた法律となっている。このように2つの法律で目的が異なるため、車両区分の定義も異なってくることは知っておきたい。道路交通法、道路運送車両法における車両の区分は主に【自動車】【原動機付自転車】【軽車両】となっているが、近年注目されている「マイクロモビリティ」については、道路交通法上では【自動車】として定義される車両でも、道路運送車両法上では【第一種原動機付自転車】に定義される車両もある。【第一種原動機付自転車】は、原付免許のみで運転が可能だが【自動車】となると、運転には普通自動車免許が必要となる。これを知らずに、該当車種を原付免許のみで運転した場合は、交通違反となる。



自動運転化を視野に超小型モビリティを開発しているKGモーターズが手掛ける「mibot」は、道路交通法上では【自動車】だが、道路運送車両法上では【第一種原動機付自転車】という扱いになる

つまり、車両の大きさや見た目だけでは車両区分を判断ができないケースも出てくるということである。自分が乗る車両がどの区分に該当し、どの免許が必要なのか知っておく必要があるのだ。今後新たな交通手段となり得るマイクロモビリティについて、まずは正しい知識とルールを理解した上で利用を考えるべきだろう。

特定小型原動機付自転車

運転免許証: 不要

最高時速: 20キロ

年齢: 16歳以上

ヘルメット: 努力義務

ナンバープレート: 必須

自賠責保険: 必須

軽自動車税: 必須

クルマの

豆知識

続く自動車アフターマーケットのルール改正

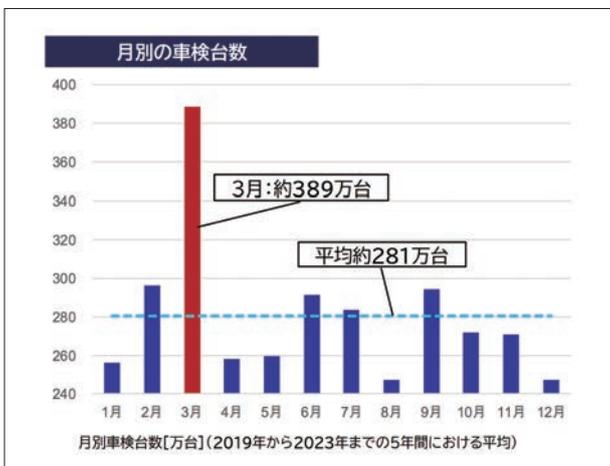
## 車検の2ヶ月前受検が可能に

国土交通省は6月25日に、年度末などに集中する検査業務を分散させて整備工場などの負担を減らし、自動車ユーザーがより円滑に車検を受けられるようにすることを目的に、道路運送車両法施行規則の一部を改正し、車検を受けられる期間を従来の1ヶ月前から2ヶ月前へ延ばすと発表。この改正に絡み、ユーザーとして知っておくべきことをまとめた。

## なぜ年度末に車検が多いのか？

現在のルールで車検は有効期間満了日の「1ヶ月前」から満了日までの間に受けることができると規定されている。しかし、年度末になると車検需要が集中し、予約が取りづらくなる上、ただでさえ人材不足の自動車業界において、自動車整備士が残業や休日出勤等に追われる問題が発生している。では、なぜ車検は年度末に集中するのか？主な理由としては、3月が最も新車販売台数が多いことと、各車メーカーやディーラーが決算時期となるため、新車の販売に力を入れる傾向にあるということがある。つまり新車の販売が多いということは、その後の車検も同様に年度末で期限を迎えるクルマが多くなるのだ。

なお国土交通省が発表した「2019年～2023年までの5年間における月別車検台数」によると、車検台数の月間平均は約281万台だが、年度末の3月は約389万台と突出して多いことが分かる。



※画像出典：国土交通省報道発表資料より

## ユーザーにとってはプラスとなる受検期間の延長

前述した理由から、国土交通省は年度末に集中する検査業務を分散させるため「道路運送車両法施行規則」を改正し、2025年4月1日から施行すると発表。これまでは車検証の有効期間満了日の「1ヶ月前」から車検を受検できたが、2025年

4月1日以降は「2ヶ月前」から受けられるようになる。この改正により、3月や4月頃に有効期間満了日を迎える自動車ユーザーは、年度末の混雑を避けて1月や2月に車検を受けられるようになる。ただし、施行は2025年4月1日からなので、今年度末時点では、まだ受検期間の延長が適用されないのに注意しなければならない。



## 車検証閲覧アプリの活用を！

2023年1月4日から登録車の自動車検査証は電子化され、必要最小限の記載事項を除き、自動車検査証情報はICタグに記録されるようになっていく（軽自動車は2024年1月4日から）。ICタグの情報は汎用のICカードリーダーが接続されたPCや読み取り機能付きスマートフォンで参照可能となっている。

なお、車検証閲覧アプリでは、車検証情報の確認のほか、車検証情報ファイルの出力（PDF等）や車検証情報以外の情報（リコール情報等）の確認、プッシュ通知による車検証有効期間お知らせサービスなどが利用できる。事前通知として有効期間の満了の60日前、30日前に、事後通知として1日後の最大3度の通知の設定が可能だ。車検が2ヶ月前から受検できるようになることで、60日前の通知は、ユーザーにとって便利な機能となるはずだ。



※画像出典：国土交通省電子車検証特設サイト「車検証有効期間お知らせサービス（有効期間プッシュ通知）」より



アフターマーケットサブライヤー活性化委員会(AAC)とは？

AACは、全国の有力な部品商が集まり、より高度な補修部品や関連資材の販売・提供のノウハウを勉強し、従来あまり得意としてこなかった補修部品以外の商品・サービスの研究をし、その情報をお客様にご提供するために、勉強と交流の場をベースに「さらなる高みを目指して」活動している組織です。100年に1度の大変革期にある自動車業界において、今できること、すべきことを従来の価値観に縛られずに、しっかりと推進し、業界活性化を図り、ひいては地域社会の発展に寄与すべく、活動を行っています。

「CAR LIFE」に関する

ご意見・ご感想・ご要望などをお寄せください



編集部では、今後ともコンテンツの充実に向けて参ります。皆様からの多様なご意見・ご要望を募集しております。下記メールアドレスまで、お寄せ下さい。

CAR LIFE編集部 ▶mail:info@aa-c.jp